

GUIを使用したセキュアファイアウォール脅威防御でのBFDの設定

内容

[概要](#)

[要件](#)

[使用するコンポーネント](#)

[背景説明](#)

[設定](#)

[確認](#)

[トラブルシューティング](#)

概要

このドキュメントでは、7.3以降を実行するSecure Firewall Management Center(FMC)でBFDプロトコルを設定する方法について説明します。

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- ボーダーゲートウェイプロトコル(BGP)プロトコル
- 双方向フォワーディング検出(BFD)の概念

使用するコンポーネント

このドキュメントの情報は、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- セキュアFMC仮想バージョン7.3.1
- バージョン7.3以降を実行するCisco Secure FMCを使用するCisco Secure Firewall Threat Defense(FTD)で設定されたBGP

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

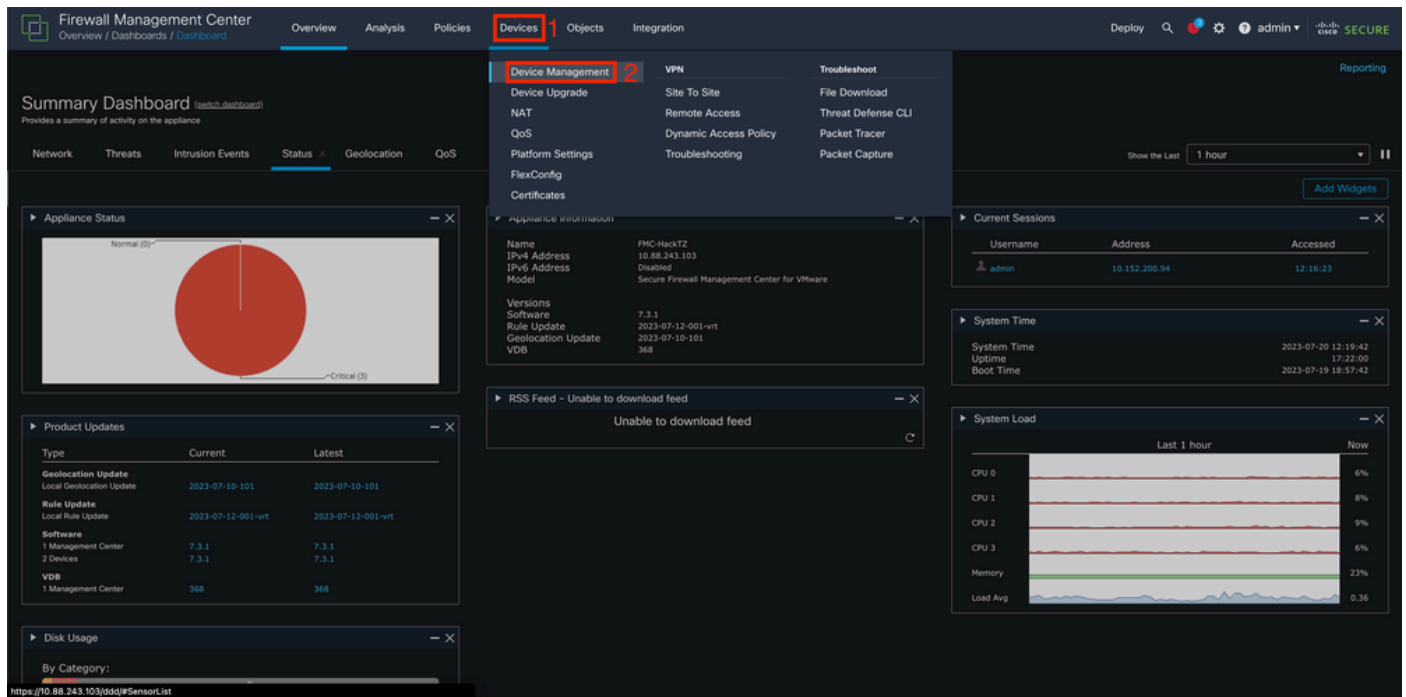
背景説明

BFDは、すべてのメディアタイプ、カプセル化、トポロジ、およびルーティングプロトコルに対して高速な転送パス障害検出時間を提供するように設計された検出プロトコルです。

設定

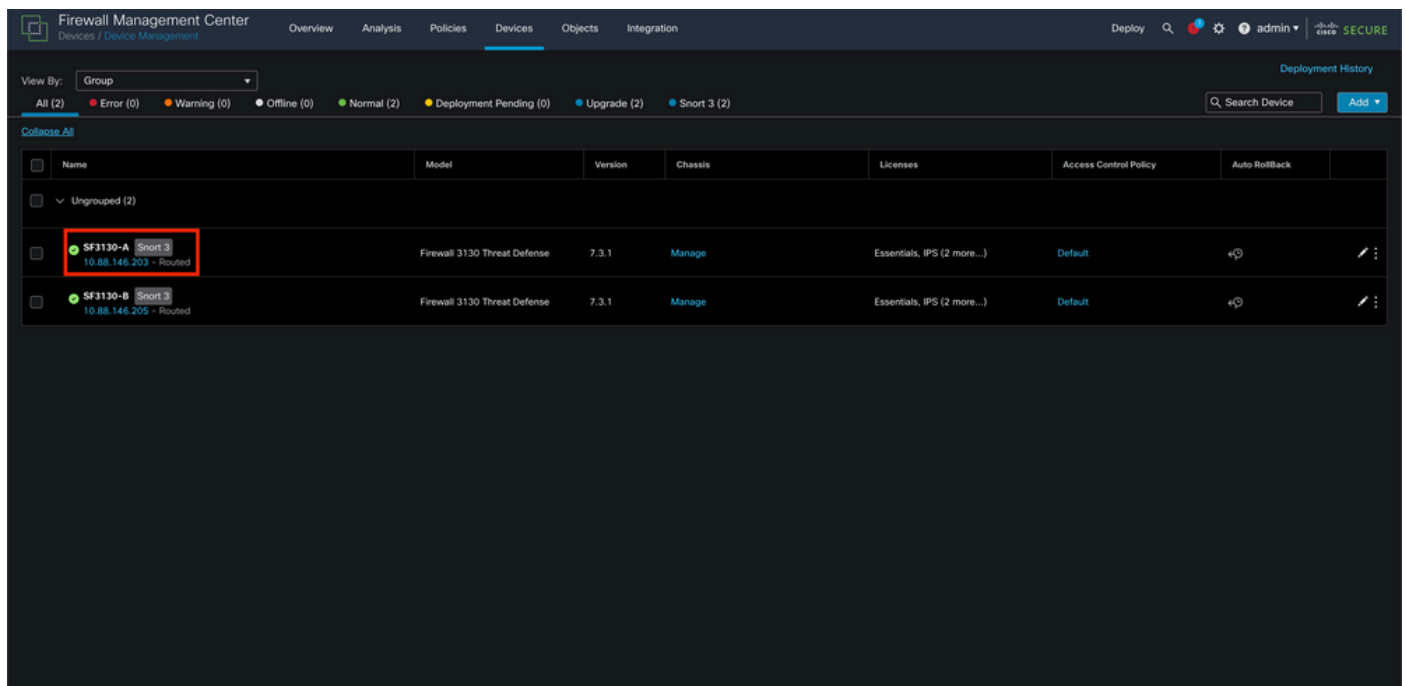
バージョン7.3以降を実行するFMCのbfd設定については、次の手順を参照してください。

ステップ 1：次に移動します。 Devices ボタンをクリックし、 Device Management をクリックして、クエリーを実行します。



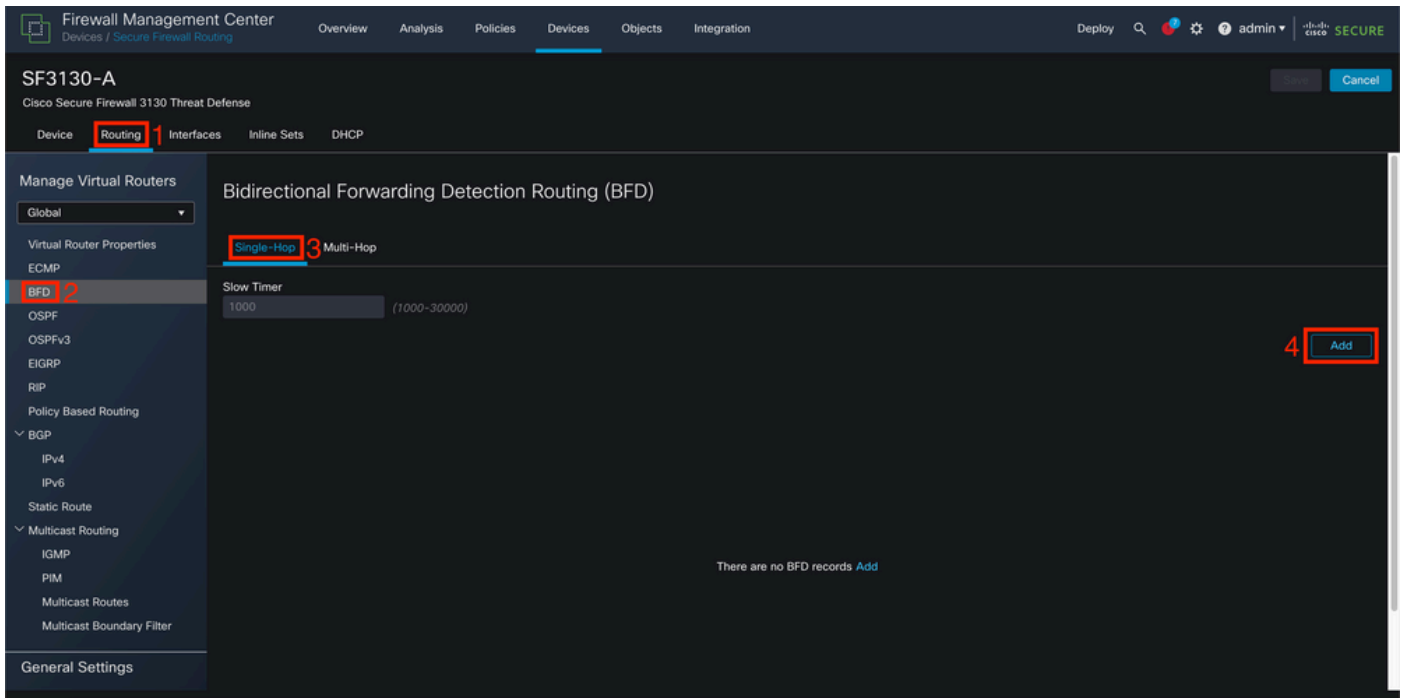
画像 1.FMCダッシュボード。

ステップ 2：bfdプロトコルを設定するデバイスを選択します。



画像 2.Device Managementセクション。

ステップ 3 : ポリシーの横の [レポート (Report)] Routing タブをクリックし、 BFD オプションを選択します。設定するオプションを選択します (Single-Hop または Multi-Hop) を選択し、 Add を参照。



画像 3. Device Routing セクション

ステップ 4 : 次のいずれかを選択します。 Interface BFD プロトコルを設定する場所を指定し、 + をクリックして、クエリーを実行します。

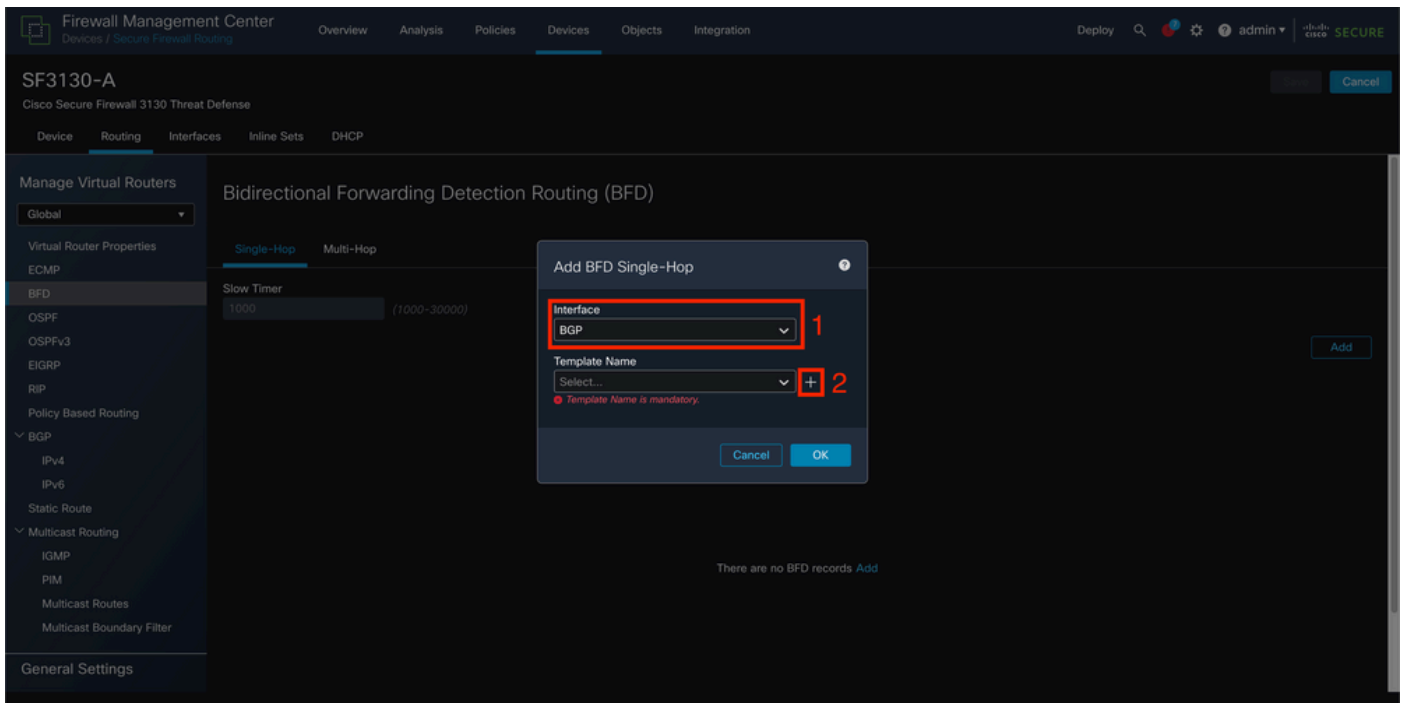


図 4. インターフェイスの選択

ステップ 5 : テンプレートに名前を付け、 BFD に必要なパラメータを設定してから、 Save ボタンをクリックします。

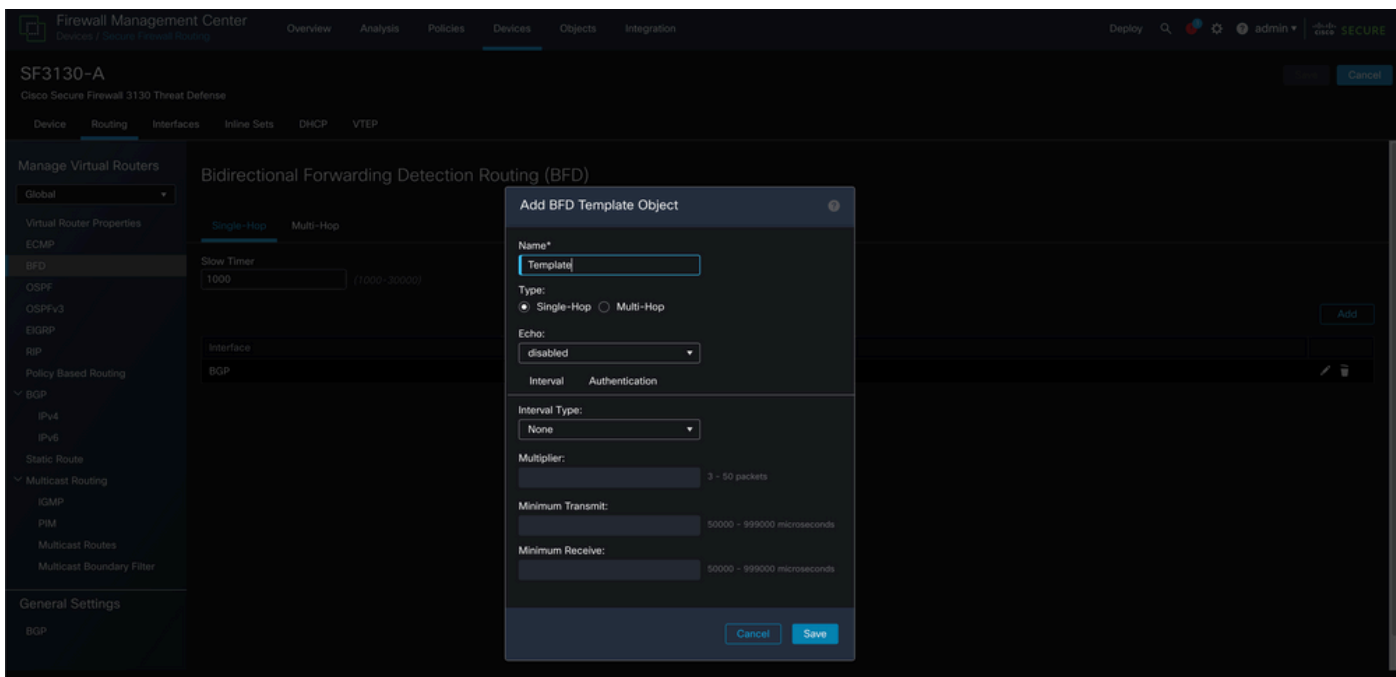


図 5.テンプレートの設定。

注：エコー機能は、シングルホップモードでのみ使用できます。

手順 6：前の手順ですでに作成したテンプレートを選択し、OKを参照。

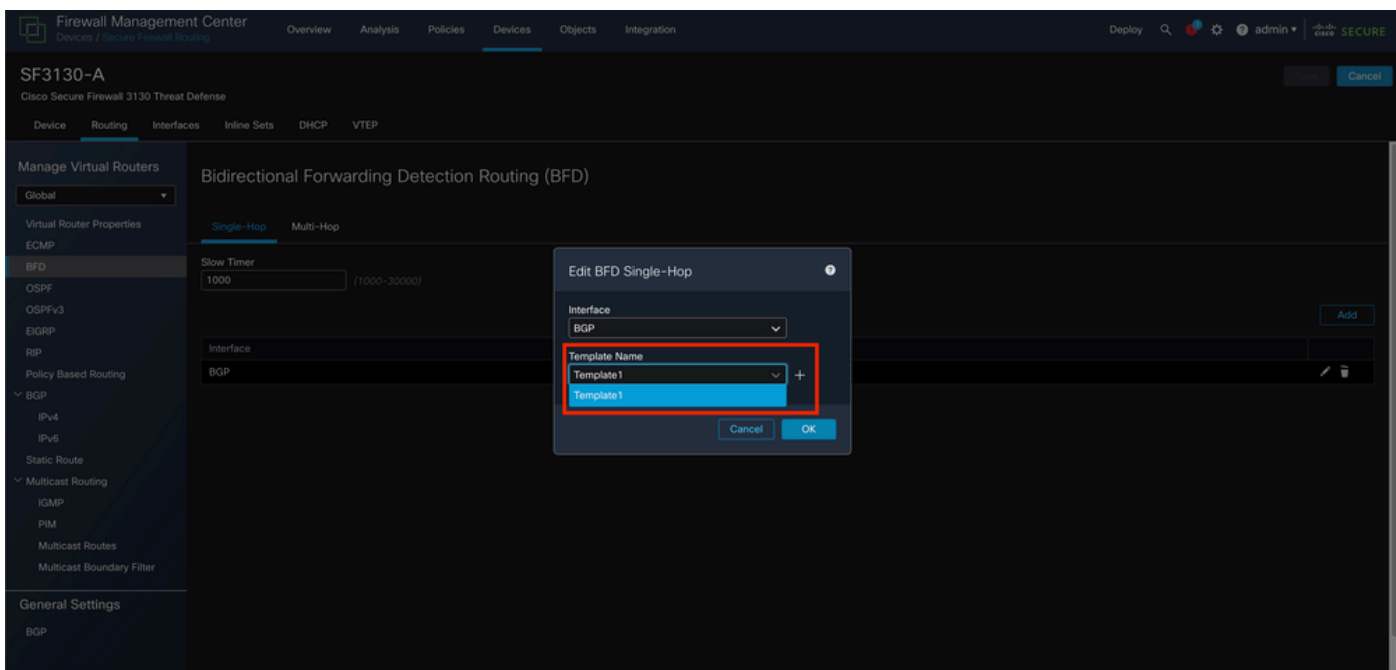


図 6.テンプレートの選択。

ステップ 7 (オプション)：BFDのフォールオーバーについては、IPv4 または IPv6 ボタンをクリックします。次のいずれかを選択しますNeighbor タブをクリックし、右側の編集鉛筆をクリックして目的のネイバーアドレスを選択します。

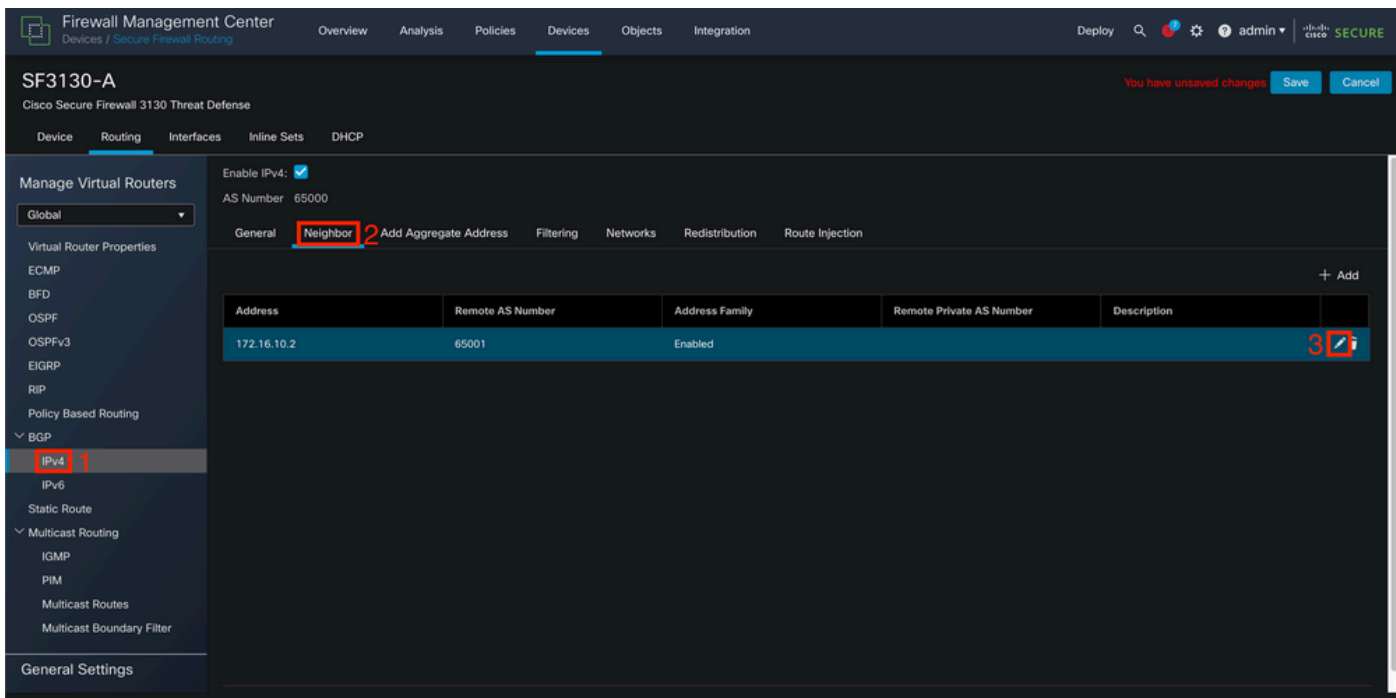


図 7. ネイバー設定。

ステップ 8 (オプション) : BFD Fallover for オプションを選択します。 `single_hop` または `multi_hop` をクリックして OK を参照。

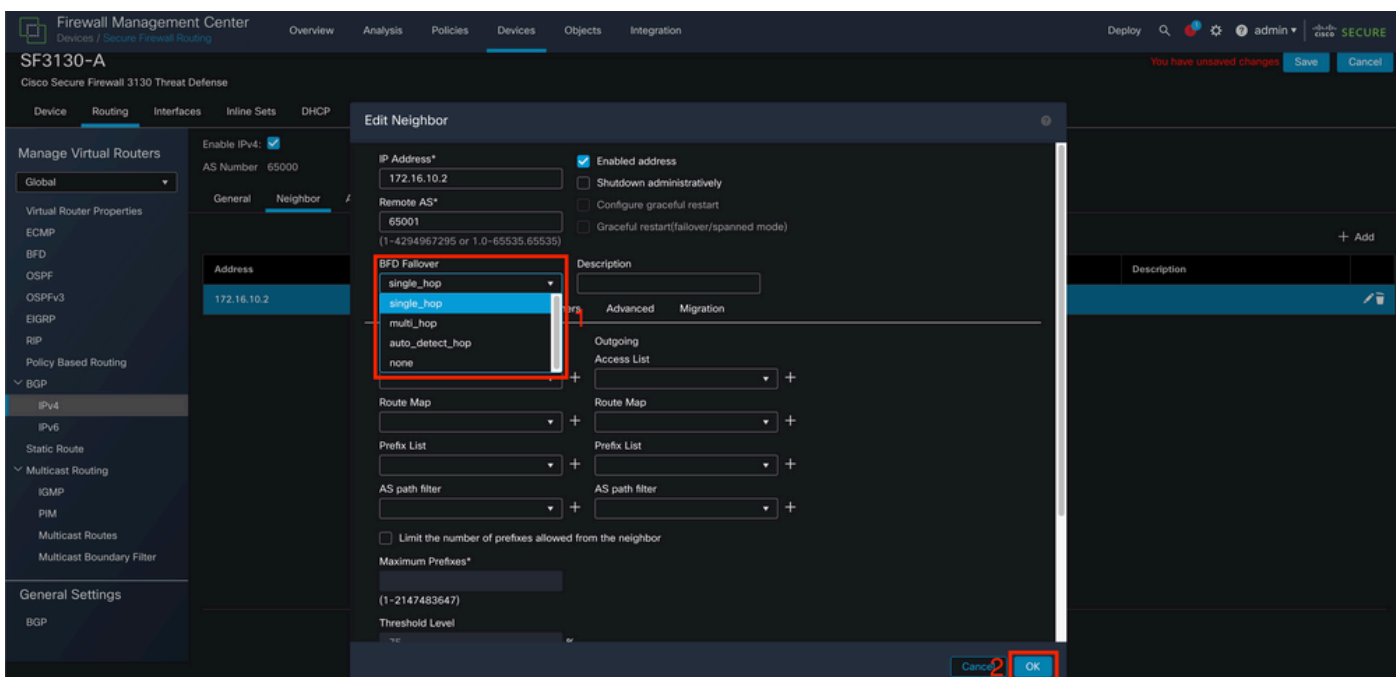


図 8. BFD Fallover 設定。

ステップ 9 : 設定を保存するには、 `Save` をクリックして、クエリーを実行します。

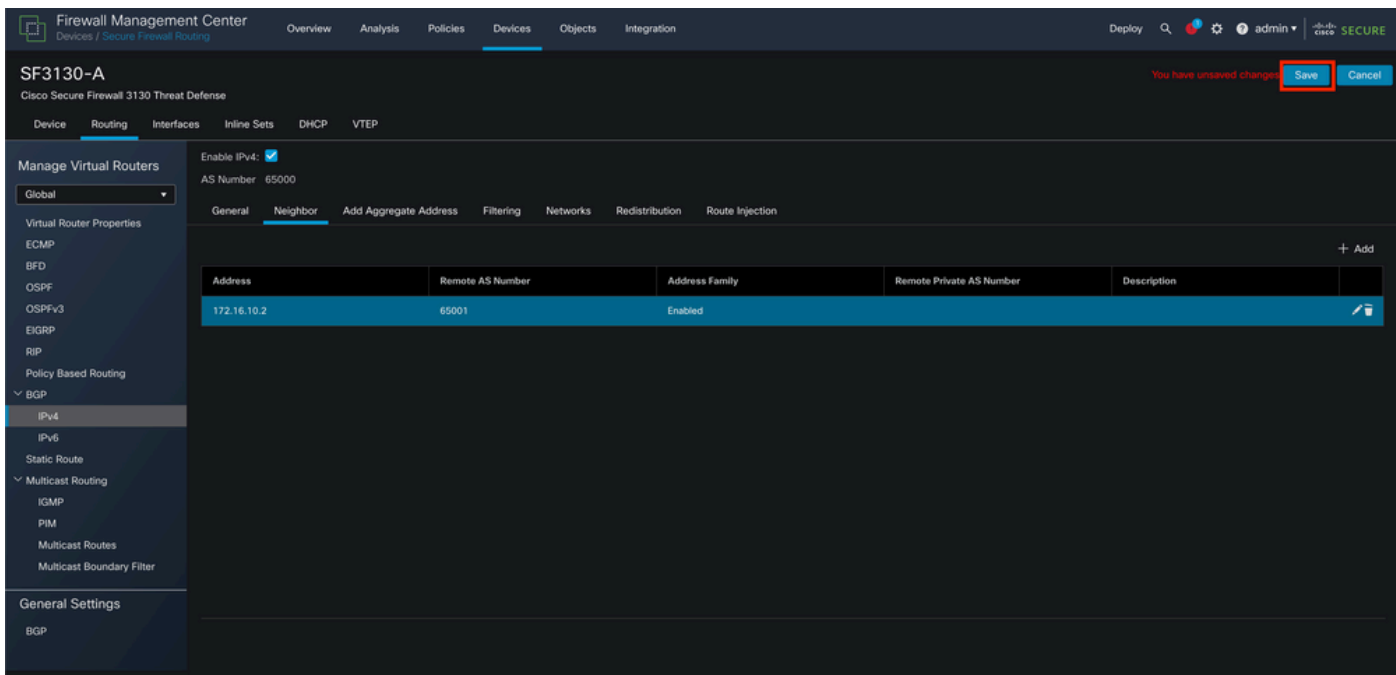


図 9. 設定の保存

ステップ 10 : ポリシーの横の [レポート (Report)] Deploy ボタンをクリックし、checkbox 変更を適用したデバイスに対して、もう一度 Deploy をクリックして、クエリーを実行します。

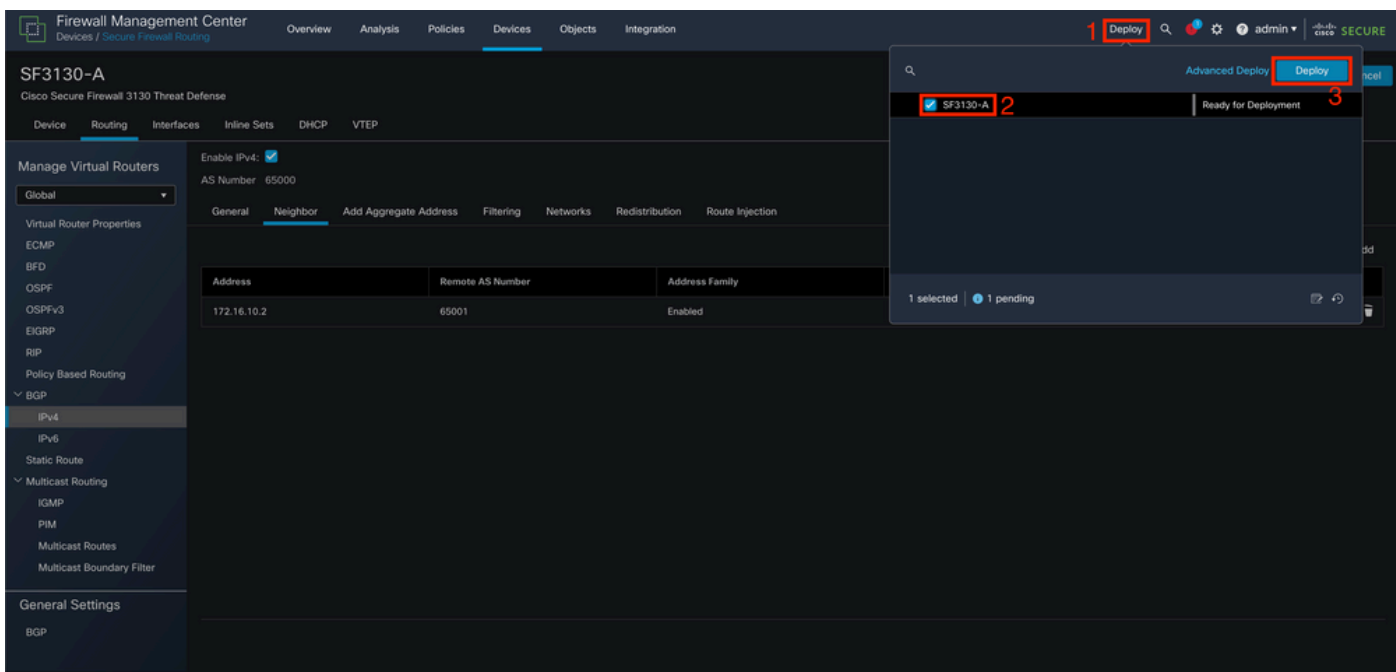


図 10. 変更の展開。

確認

次のコマンドを使用して、CLIセッションのBFD設定とステータスを直接確認します。

```
<#root>
```

```
>
```

```
system support diagnostic-cli
```

```
Attaching to Diagnostic CLI ... Press 'Ctrl+a then d' to detach.  
Type help or '?' for a list of available commands.
```

```
SF3130-A>
```

```
enable
```

```
Password:
```

```
SF3130-A#
```

```
show running-config | inc bfd
```

```
bfd-template single-hop Template  
bfd template Template  
neighbor 172.16.10.2 fall-over bfd single-hop
```

```
SF3130-A#
```

```
SF3130-A#
```

```
show bfd summary
```

	Session	Up	Down
Total	1	1	0

```
SF3130-A#
```

```
SF3130-A#
```

```
show bfd neighbors
```

```
IPv4 Sessions
```

NeighAddr	LD/RD	RH/RS	State	Int
172.16.10.2	1/1	Up	Up	BGP

トラブルシューティング

現在、この設定に関する特定のトラブルシューティング情報はありません。

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。